

## OLYMPUS GuideSheath Kit 2 取扱方法

### ディスポーザブルガイドシースキット

# K-401/402/403/404

検査を始める前に、以下の手順で準備を行ってください。

### 1 ガイドシースキット2 ストップパについて

ガイドシースキット2には、ETストップパとUSストップパが梱包されています。

モデル名	K-401	K-402	K-403	K-404
適用チャンネル	2.0mm 以上		2.8mm 以上	
ETストップパ	4 個 (白)	3 個 (白)	4 個 (3個: グレー/1個: 白)	3 個 (2 個: グレー/1 個: 白)
USストップパ	1 個 (グレー)		1 個: (グレー)	

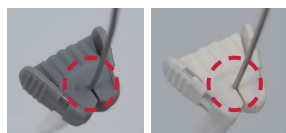
### 2 ET/USストップパの使い方

#### 〈USストップパの準備〉

- 超音波プローブ先端がガイドシース先端から少し出る位置まで挿入し、USストップパをスリットの奥まで挿入して取り付けます。

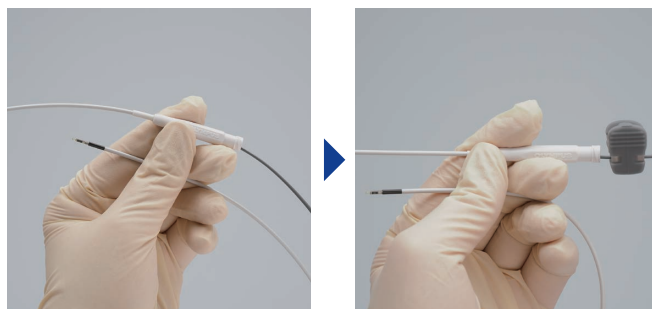
#### 注意

ストップパは必ずスリット奥の突き当たる位置で装着してください。



USストップパ

ETストップパ



- USストップパの接続部をガイドシースの処置具ポートに押し込んで固定します。



処置具ポート

- USストップパを超音波プローブ先端がガイドシース先端から少し出る位置に調整します。  
超音波プローブに取り付けたまま、USストップパをガイドシースの処置具ポートからはずします。

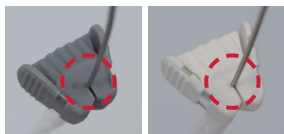


## 〈ETストップパの準備〉

ガイドシースから処置具先端が出る位置まで挿入し、ETストップパをスリットの奥まで挿入して取り付けます。

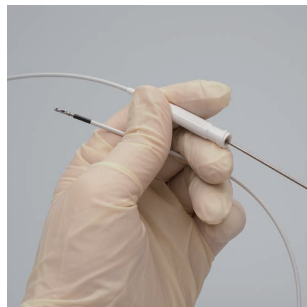
### 注意

ストップパは必ずスリット奥の突き当たる位置で装着してください。



USストップパ

ETストップパ



### ポイント

各デバイスの先端が下記写真のようにガイドシースの先端から出るようにETストップパの位置を調節します。



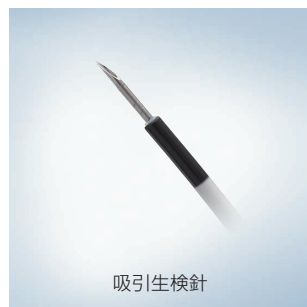
誘導子



生検鉗子



細胞診ブラシ



吸引生検針

## 3 ガイドシースのストップパ準備、位置決め

- 1 ガイドシースに処置具/超音波プローブを通した状態でETストップパを取り付けます。



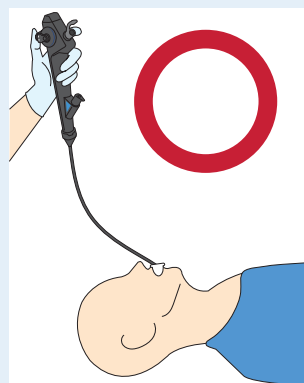
- 2 スコープに1でセットしたガイドシースを挿入し、目的の位置まで到達したらETストップパを鉗子栓に突き当たる位置に移動させます。



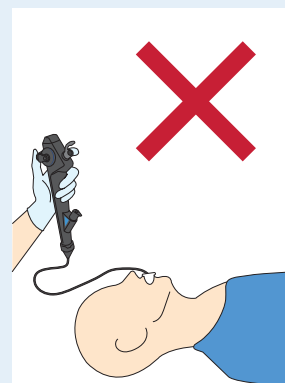
**注意**・ガイドシース単体でスコープに挿入しないでください。ガイドシースが折れ曲がり、破損する恐れがあります。  
・ガイドシースの挿入はスコープ鉗子口に近い部分を持って、まっすぐにゆっくりと行ってください。

## 使用上の注意

操作部付近の挿入形状にたわみがある場合、ガイドシースへの処置具の挿通が重く感じることがあります。挿入部全体をなるべくストレートな状態にして操作してください。



ストレートな状態



たわみのある状態

●仕様・外観については、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承ください。